



今年度最後の定期考査に向けて



2月21日(水)・22日(木)に定期考査がありました。今回は分散登校でのテストを受ける形になり、分校と新宮中学校に分かれて実施しました。テスト前には、今回も「i-study12」(家庭学習強化週間の取組)を実施しました。

定期考査前の、2月5日(月)に家庭学習の計画を立てました。全校生徒で異学年のペアをつくり、学年を超えてよりよい家庭学習の方法について考えました。3年生が1年生に、2年生が1年生に学習計画についてアドバイスする姿もありました。また今回は、家庭学習の質を高めるために学習委員会の取組として、Google スライドに自学ノートの画像をあげ、自学の工夫点を共有する取組も行いました。第1週では、自分の自学の工夫点を記載してスライドにあげました。それを経て第2週では、第1週でいいと思った人の自学を参考にしていました。「見返しができるように色をたくさん使わない」「色の使い分けをして重要なところがより明確になるようにした」など、ノートの整理法や色の使い方などを参考にしながら学習を進めることができました。また、他の人の学習法を知ることによりよい自学の方法について、学び実行することができました。今回学んだ「学び方の工夫」「自己調整」を意識して考査前だけでなく日常的な家庭学習でも、続けることを目指していきます。

いじめゼロサミット



2月19日(月)、新宮中学校区の5校による「いじめゼロサミット」をオンラインで行いました。今回は、各校が「いじめゼロ」に向けて、今年度の取組の成果を報告する場になりました。相島分校は、「あいさつ活動」「いじめゼロ集会」「相島分校キャッチコピーコンテスト」「相島分校パンフレット」の4つの取組内容と学校生活アンケート結果から「いじめゼロ」への意識が向上していることを報告しました。生徒会長を中心に、堂々とした発表で新体制になった生徒会をリードしていく姿が見られました。また、質問やお互いの良さを発表する際も、はきはきと自分たちの意見を発表することができました。各校の報告を聴いたり、自分たちの取組を振り返ったりすることで改めていじめのない学校や社会を作ることへの思いを、新宮中学校区の小中学校と共有できる貴重な機会になりました。



素晴らしい経験



2月29日(木)相島保育所との交流を行いました。家庭科の授業で保育所の子どもたちと楽しく交流するために、フェルトを使って手芸のおもちゃを製作しました。交流では、絵本の読みきかせやおもちゃで園児たちと触れ合いました。生徒からは、「保育所交流を通して、園児たちとの触れ合い方、接し方を学ぶことができた。とても楽しかったです。」と感想がありました。

普段関わることが少ない子どもたちと交流できたことで、自分の成長や園児たちとの関わり方について学ぶことができました。

美味しくできました

2年生の家庭科の授業で調理実習を行いました。今回は、「大学芋」と「スイートポテト」という芋料理の2大巨頭を生徒達が選択し、作りました。芋は技術科の授業で自分たちが育てて採れた芋を使用しました(芋は足りなかったので追加)。楽しみにしていた調理実習でワクワク感と上手に作れるか不安もある中での作業でした。作業では、「裏ごしが大変でした！だけどそれを頑張ったからホクホクでとろとろのスイートポテトができたと思います。とても美味しかったです。」と感想があり、美味しさとともに達成感も味わうことができたようです。



